



Little Women Project  
若草プロジェクト  
について

若草プロジェクトは、これまで法律・制度の狭間で置き去りにされがちであった、  
生きづらさを抱える少女や若い女性へ支援を届ける団体です。  
そのために「つなぐ」「まなぶ」「ひろめる」活動を行っています。

- つなぐ…LINE相談の実施、まちなか保健室、若草ハウス(シェルター)の運営など、少女・  
若い女性たちと支援者、支援者同士、支援の現場と企業・社会をつなぎます。
- まなぶ…少女や若い女性たちの現状や支援方法を学ぶため、連続研修会の実施や、  
支援者のためのマニュアルを発行しています。
- ひろめる…シンポジウムや広報活動により、少女や若い女性たちの問題の深刻さを  
社会に広く訴えます。

プラットフォーム「TsunAが〜る」に関するお問い合わせはこちら

「TsunAが〜る」事務局

TEL:03-5550-2007

(土日祝日を除く10:00~17:00)

Mail:wakakusa@tsunagirl.jp

気持ちをつなぐプラットフォーム

TsunAが〜る

つなガ〜ル



Little Women Project  
若草プロジェクト

# 社会の中に 大きな応援団をつくる

TsunAが〜る

若草プロジェクトでは、少女や若い女性たちに支援を届けるために、「つなぐ・まなぶ・ひろめる」活動を通してさまざまな取り組みを行っています。特に支援者同士をつなぎ、全国の女性を支援する取り組みは、2016年設立当初からの大きな目標でした。その過程で、支援施設が本当に必要とする支援が必要な時に届けること、それを持続的に行うことが求められていると気づき、TsunAが〜るの構想に至りました。そして2020年度より、日本財団、日本産業パートナーズ株式会社、日本生命保険相互会社より資金協力をいただき、少女や女性たちと企業をつなぐプラットフォーム「TsunAが〜る」を開設しました。TsunAが〜るでは「支援の現場と企業や社会をつなぐ」という取り組みを通じて、彼女たちが抱える課題を社会の問題として捉え、社会のなかに大きな応援団を作り、その問題を解決していきたいと考えています。そして一人でも多くの少女や女性たちに、社会の中にある大きな応援団の存在を知っていただければと願っています。

施設からの声

靴を選んだ後、箱を両手に抱きしめて帰られる姿が印象に残っています。

施設からの声

たくさんの靴が入った段ボールを、わくわくしながら開封する子どもたちの楽しそうな顔が見られて、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。

女の子からの声

コスメめっちゃ嬉しい！  
こんなのもらっていいんですか!?  
うれしいをとおり超えて  
しばらくぼんやりしてた。

女の子からの声

頂いたダウンジャケットは  
とてもあたたかく、  
きもちが良くてたまりません。  
紅葉の季節になり、  
このジャケットを着て外出  
しようと思います。

施設からの声

コスメ品は、  
心の潤いにもなるのだなあと  
改めて感じます。



若草プロジェクト 代表呼びかけ人  
村木 厚子

私たち若草プロジェクトは、貧困・虐待・DV・性的搾取・育児ノイローゼ・いじめ・薬物依存などさまざまな理由で生きづらさを抱えた少女・若年女性を支援する団体として2016年4月に活動を開始しました。活動の中で、私たちは社会の中に生きづらさを抱えた少女・若年女性が驚くほどたくさんいること、そして、コロナ禍でその状況は一層悪化していることを実感しました。一方で、私たちと同じように、彼女たちを応援しようと日々奮闘している、いわば仲間のような施設や団体が全国にたくさんあることも知りました。どの施設・団体も小さな所帯で、財源確保や人材確保に悪戦苦闘しながら懸命に支援活動を展開しています。

そこで、私たちは、少女・若年女性を直接支援するだけでなく、同じ目的を持つ支援施設・団体を応援できないだろうか考えるようになりました。一つの施設・団体ができる支援や活動には限界があります。たくさんの施設や団体がしっかり活動できるようにお手伝いが出来れば、少女・若年女性の支援はもっと良くなるのではないかと。そうだと、応援団の応援団になろう、これが私たちの一つの目標になりました。

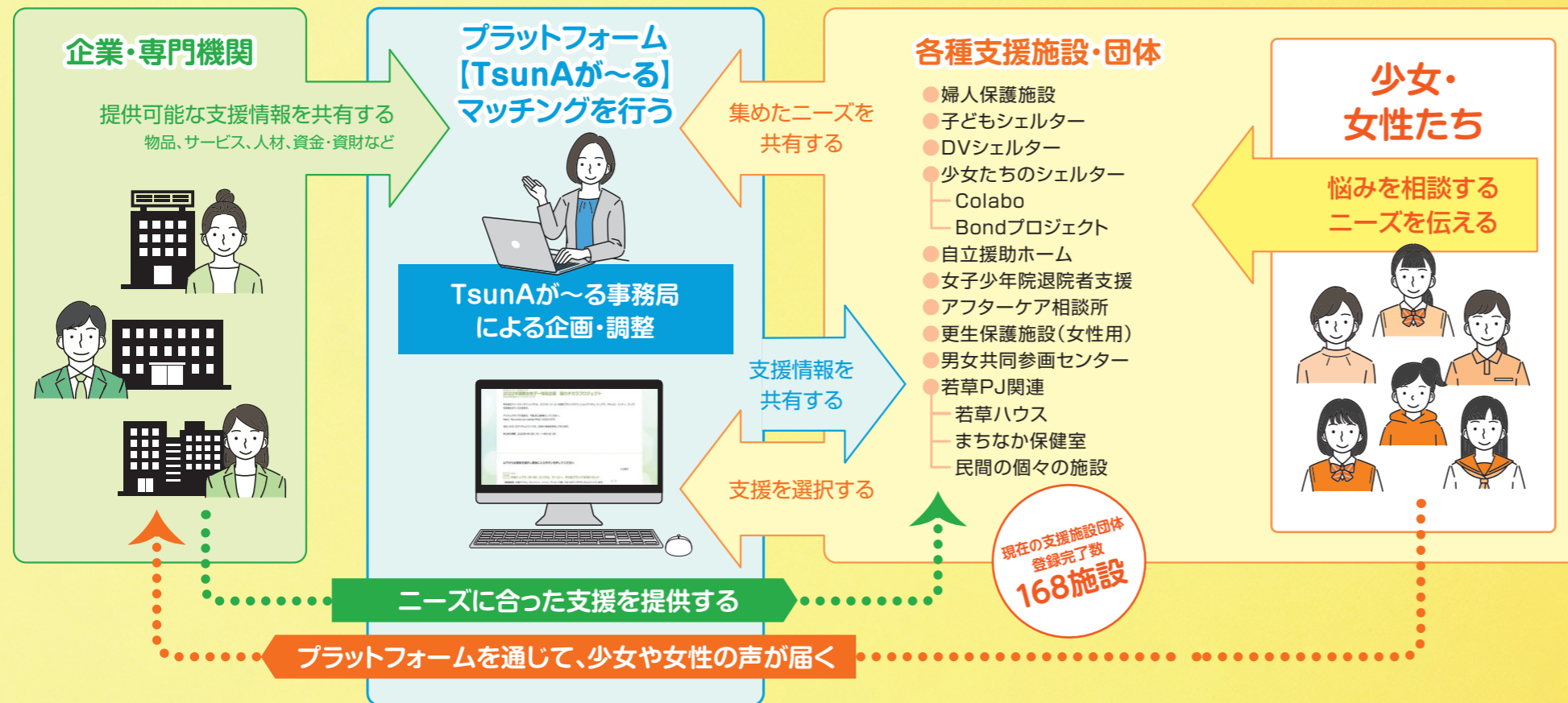
いくつかの企業に協力をお願いすると、驚くほど力強い「応援するよ!」の答えが返ってきました。そして何よりもうれしかったことは、息長く継続的に支援をしたいという企業がたくさん現れたことです。

これから、私たちは、応援して下さる企業をもっと増やし、また、企業だけではなく、専門機関・専門職団体などにも声をかけ、少女・若年女性の未来を応援する応援団を増やし、「社会の中に大きな応援団をつくる」ことを目指します。

こうした目的を達成するために作られたのが、応援して下さる企業や専門機関・専門職団体と支援施設・団体、そしてその先にいる少女・若年女性そして女性たちを繋ぐプラットフォーム、「TsunAが〜る」です。

「TsunAが〜る」は、少女や女性たちが必要としているサポートと、  
 企業・団体が提供可能なサポートをマッチングし、  
 必要な人に必要なサポートを提供するためのデジタルプラットフォームです。

プラットフォームによる“マッチング”で、新しい寄付の形をつくり、社会の課題を解決します



若草プロジェクト 理事  
 福田 万祐子

若草プロジェクトでは全国の支援現場の皆さまと意見交換やヒアリングを行い「支援のかたち」について考えました。そのなかで「欲しい支援」を「欲しい時」に受けられないこと、「持続的な支援」がないことが大きな課題だとわかりました。また「施しのような支援」ではエンパワーされないというたくさんの意見をいただきました。地方と都市部の社会基盤の格差、支援が届きづらいことも大きな問題だとわかりました。そして、その秘匿性の高さゆえに支援活動を行っている施設・団体間の情報の共有、ネットワークがないという大きな課題にも直面したのです。

こうしたご意見をもとに私たちは「TsunAが〜る」というデジタルプラットフォームをつくりました。全国にある支援施設・団体と企業や専門機関などをネット上でつなぎ、支援情報を共有し、持続的な支援、必要とする支援のマッチングをする仕組みです。生きづらさを抱え、明日への一歩を踏み出せないでいる少女や女性たちに「必要なもの」「欲しいもの」を「欲しい時」に「選ぶ」ということを通して、彼女たちに社会のなかの「応援団」の存在を知らせ、「エール」という形で彼女たちの元に届けることができると考えています。

プラットフォームで使うシステムはとてもシンプルです。ですが「大きなつながり(全国規模)」にも、「小さなつながり(地域、地元のセーフティネット)」としても活用できる、汎用性のあるものです。地元力・地縁力をデジタル上で生かすこともできます。私たちは「TsunAが〜る」が「人のぬくもり」がたつたわる、明日への一歩を優しくささえる、新しい「支援のかたち」となることを願っています。

TsunAが〜るに込められた意味

大人(大文字)が子ども(小文字)を守る

-   
 T  
 Trust(信頼できる)
-   
 S  
 secure(安全安心)
-   
 U  
 u(youth)(若者)
-   
 N  
 net(ネットワーク)
-   
 A  
 Adult(大人)



TsunAが〜るを支援していただいている企業・団体の皆さま(一部)



若草プロジェクト  
 プラットフォーム事務局  
 佐藤 周子

「TsunAが〜る」サイトは2021年にスタートしました。これまで企業のみならず多くのご支援をいただき、TsunAが〜る内で衣料品、災害緊急時の非常食、コスメ、生活用品と様々な企画を実施することができました。靴の企画では、デザイン・サイズ毎に募集を行いました。「靴を選んだ後、箱を両手に抱きしめて帰られる姿が印象に残っています。」といった多くのメッセージをいただき、好きなアイテムを「自分で選べる」ことがとても大切だということを実感させていただきました。応募いただきました皆さまからたくさんのメッセージをいただくことができ、ご支援を届けてくださる企業のみならず、スタッフ一同大変励みになっています。



### ♥ファーストリテイリングさま

#### 「若草×服のチカラ 協働プロジェクト」

ファーストリテイリングは、一人ひとりの違いが尊重され、すべての人に挑戦と可能性を広げる機会が平等にある環境こそが社会をより良く変えていく、という考えのもと、ダイバーシティ&インクルージョン(多様性の受容と尊重)の取り組みを推進しています。2016年から、日本国内において困難な状況に置かれている少女や若い女性に寄り添い、支援する若草プロジェクトの取り組みをサポートしており、グループブランドのユニクロ、ジーユー、セオリーが、全国の若草プロジェクトが連携する施設に衣料品を寄贈しています。

#### ●服のチカラを届ける

日常に必要なユニクロの衣料アイテムを継続的に「届ける」取り組みです。全国にある支援施設や団体からなる若草実行委員会を通じて、緊急避難などでシェルターや施設に避難してくる少女や女性、子どもたちに向けて、年に二回、日常生活に必要なインナーウェア等の衣料をお届けしています。この取り組みは2018年より本格的に始まり、ユニクロに加え、ジーユー、セオリーの2ブランドも加わり、2021年度までに累計50,885点の衣料品を寄贈いただいています。



#### ●服のチカラを体験する ～イベント～

ファーストリテイリングのグループブランドであるセオリーのサステナビリティ活動「Closet for Needs(クローゼットフォーニーズ)」を通じて、年に数回、施設などにいる少女たちに向けたイベントを開催し、「服のチカラ」を体験していただいています。好きな服を「選ぶ」という経験を通して、自分が変わる・変わるという服のチカラを体験することで、「今」を肯定できる楽しいイベントです。

なおこのイベントは、セオリーだけではなく、全国のユニクロ、ジーユー店舗などでも開催しています。



#### ●服のチカラを未来のちからへ

ジーユーは、お買い物や服のリサイクル活動への参加で貯まるジーユーマイルを、サステナビリティ活動へ寄付する取り組みを実施しています。ジーユー公式アプリを通じて寄せられた若草プロジェクトへの寄付は、困難な状況に置かれた少女や若い女性たちの支援へ活用されています。

ジーユーマイルの付与は2023年1月15日(日)で終了予定です。なお、ジーユーマイル寄付は2024年1月31日(木)まで受付しております。

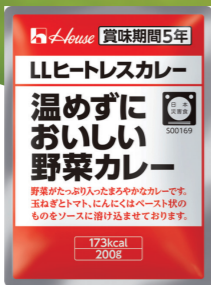


支援の事例



### ♥ハウス食品グループさま

ハウス食品グループと協働で「施設における食に関するお困りごと」についてのアンケートを実施しました。全国321の施設の回答から食を大事にすることが生きることや笑顔に繋がるという「食の力」を改めて知ることができました。アンケートの中に「災害備蓄品までなかなか手が回らない」という回答があり、2020年度は全国の女性保護施設や母子保護施設等へ常温で5年6か月保存できるハウス「LLヒートレスカレー」<温めずにおいしい野菜カレー>を300ケース寄贈いただきました。施設からは「調理スペースのないところや緊急時にも提供できるので助かります」「備蓄食品が賞味期限で入れ替えの時期でした。限られた資金ではどうしても後回しになってしまうところ、とても助かりました」等の声が寄せられました。



### ♥マクドナルドさま

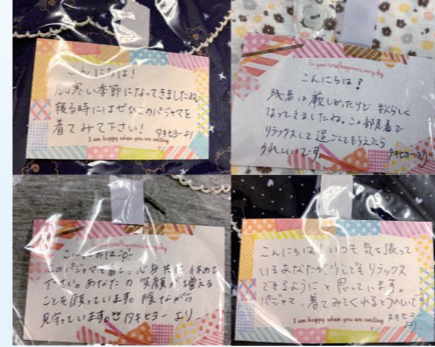
マクドナルドは、「おいさと笑顔を地域の皆さまに」をパーパスに、日本全国の約2,900店舗でお客様をお迎えしています。地域の安全な居場所として気軽にお店を訪れていただけるよう、ドリンクとポテトの無料券をご提供いたしました。若草プロジェクトやまちなか保健室のアウトリーチ活動に利用いただいております。



### ♥タキヒヨーさま

スーツやパジャマなどの衣類のご提供をいただいています。

一着一着に、ご担当者の方がメッセージをつけてくださっています。製品はもちろんですが、ご担当者が込めてくださる想いとあたたかいメッセージが、少女たちの力となっています。



### ♥コスメバンクプロジェクトさま

「女性と地球にスマイルを」を合言葉に「コスメバンクプロジェクト」は始まりました。

一つでも多くの笑顔が生まれたら…という願いのもと、プロジェクトに共感してくださった化粧品、日用品メーカー様より、現行製品の寄贈のほかに、リニューアルに伴い旧仕様品となった製品や、お店の売り場変更により、店頭から未開封の状態返品された店頭戻り品等、品質には何ら問題がないものの残念ながら再販売の難しくなった良品もお預かりし、コスメバンク事務局にてコスメを詰合せにして、それらをご活用頂きたい女性の元へお届けさせていただきました。



### 今日と未来を、つなぐ。 日本生命

#### ♥日本生命さま

日本生命は2019年度に包括協定を結び、若草プロジェクトとの協業を開始。これまでに、若草メディカルサポート基金やシンポジウム、活動報告書、新規事業である「TsunAが〜る」運営に係る資金協力を実施するとともに、若草プロジェクトが運営する「まちなか保健室」のアウトリーチ用グッズの寄贈をしています。また、若草プロジェクト事務局のステークホルダー管理業務の課題整理や解決に向けたツール制作について、社内従業員から有志メンバーを募ってプロボノ活動としてサポートしました。加えて、若草プロジェクトの応援の輪を広げる活動を行うなど、さまざまな面で若草プロジェクトの活動を応援しています。

## MOVE

### ♥eBayJapanさま

インターネット総合ショッピングモール「Qoo10」を運営するeBay Japanは「すべての人の生活を豊かにする機会を創造する」という理念のもと、全国の少女や女性たちに役立ててほしいと「社会のなかに大きな応援団をつくる」という取り組みへの寄付や「MOVE by Qoo10」で発生する返品衣料品を新品同様の状態に再生し、支援プラットフォーム「TsunAが〜る」を通じて女性支援、施設団体に寄贈する活動を毎月実施して頂いています。グローバルではeBayは世界最大級の募金活動プラットフォーム「eBay for Charity」を運営しています。若草プロジェクトもその対象団体となる予定です。